

和 白 干 潟 通 信

愛 して、わ じ ろ



No.109

2014年1月14日
発行: 和白干潟を守る会
〒811-0202 福岡市東区和白1-14-37
Tel/Fax.092-606-0012
<http://www14.ocn.ne.jp/~hamasigi/>



「初夏の和白干潟」きりえ：くすだひろこ

和 白 干 潟 を ラ ム サ ー ル 条 約 登 録 地 に ！

新年 おめでとうございます！！

2014年1月

和白干潟を守る会の活動が日本ユネスコ協会連盟により第5回「プロジェクト未来遺産」に登録されました！（2013年12月）

1988年に「和白干潟を守る会」を発足以来のたゆまぬ保全活動が評価され、嬉しい限りです。保全活動は今年で26年になります。大切な和白干潟の自然を未来の子どもたちに残すために、自然観察会や和白干潟まつり・クリーン作戦・鳥類調査・水質や砂質調査・和白干潟通信やパンフレットなどの発行・ホームページでの広報などの多くの活動を、会員の皆さまとともに続けることができました。活動への企業や学校の支援が増え、「クリーン作戦」への参加が大きく増えました。2012年7月より、新たに「山・川・海の流域会議」で立花山・唐原川・和白干潟の保全グループが連携して、保全活動を続けてきました。また和白干潟には海底湧水があることがわかりました。酸素を多く含む塩水が湧き出しており、和白干潟の海水を浄化しているそうです。人工島開発があっても、和白干潟で今でもアサリが多く採れているのは、幸運にも海底湧水があったからだと思います。

2012年11月より集めてきました「和白干潟のラムサール条約登録を求める署名」の第1次集計分を2013年12月に福岡市長と環境大臣に提出しました！ミヤコドリは今冬は10羽が和白干潟に来ており、クロツラヘラサギは12羽を確認しています。

2014年を迎え、世界の湿地や干潟の保全が進むことを心から願っています。今年も和白干潟を守る活動に、皆さまのご協力をお願いします。和白干潟がぜひ「ラムサール条約登録湿地」となるようにがんばりましょう！今年もどうぞよろしくをお願いします！

和白干潟を守る会 代表 山本 廣子

🦀 第25回 和白干潟まつり開催（11月17日）

開始前に雨が降り、水たまりの穴埋めなどの土木作業をしたり大変でしたが、その後は雨も上がり開催できました。雨の後は風が強く寒くなりましたが、皆でがんばりました。

参加者も多くなり約400名でした。子どもたちもたくさん参加していました。生協の元の干潟まつり担当者もブースで参加してあり、なつかしかったです。新しく参加されたお店もあり、仲間の輪が広がっていくのは嬉しいことでした。観察会も強風で実施しにくいところもありましたが、子どもたちが多く参加してくれた観察会もありました。ステージも強風でコーラスなど、場所を変えて実施したグループもありました。1年に1回だけ会う方々もあり、なつかしく嬉しいまつりになりました。実施できて、本当に良かったですね！（実行委員長：山本 廣子）



開会式

濡れた会場の整地をしてから開会式。高島福岡市長のメッセージが届いた。



バードウォッチング

カモ類、クロツラヘラサギ4羽など21種を観察。50名参加。



ネイチャーゲーム

生田さんの指導で、動物の名前あて、食物連鎖など。参加者は子ども15名、大人5名。



植物観察

神野先生の指導でウラギクの花や、綿毛、紅葉したハママツナなどを観察。14名参加。



干潟の生き物観察

藤井さんの指導で、観察できた生き物は12種、参加者は32名。



コンサート

九州青年合唱団の8人が海を背にして「和白干潟の歌」などのコーラスを歌った。



南米音楽演奏 「モジャッコ」

民族衣装を着たモジャッコの演奏。ペルー出身の方も参加。



わらべうたの ミニシアター

子ども劇場の大人と子どもによるわらべ歌。



鳥の声入り 紙芝居

森文子さんによる山本代表作「和白干潟の秋」の紙芝居。



○×クイズ

久保さんと子どもたちが考えた干潟の○×クイズ。人気上々。

ラムサール条約登録を目指して...400人参加 (高田 将文)



マジックショー

わくわくマジックの皆さんと山本代表のマジックショーは毎年大人気。



一言アピール

たくさんの出店者が自分たちの活動をアピール。



手をつないで

海に向かいたくさんの参加者が手をつなぎ「海の歌」などを歌い踊った。



干潟の掃除

51名が参加し干潟の掃除をした。乾燥したアオサを8袋集めた。



写真展・パネル展

和白干潟の自然の写真や、和白干潟で活動するグループの紹介パネルの展示は、多くの人に関心を持って見てもらうことができた。



模擬店・バザー

出店は17店。おでんなどの食品と無農薬野菜や竹炭などの販売と展示。



閉会式

ラムサール宣言を読み上げ、グリーンコープ生協の福岡東支部長が来年もまつりをがんばろうと挨拶。

第25回和白干潟まつりラムサール宣言

(抜粋)

- 1 私たちは、これからも大切な和白干潟の保全活動と環境保全の啓発活動を続けていきます。
- 2 福岡市に、博多湾全体のラムサール条約登録に先立ち、まず条件の整っている和白干潟のラムサール条約登録を国に申請することを求めます。
- 3 環境省に、和白干潟のラムサール条約登録に早急に取り組むことを求めます。

2013年11月17日

第25回和白干潟まつり参加者一同



福岡市長からのメッセージ (要旨)

「和白干潟まつり実行委員会」の委員の皆様をはじめ、参加者の皆様におかれましては、日頃から干潟の清掃活動など、博多湾の環境保全活動に熱心に取り組んでいただき、厚くお礼申し上げます。また、「和白干潟まつり」が25回の節目の開催を迎えられたことにつきまして、お祝いを申し上げますとともに、四半世紀という長きに亘る取り組みに対し敬意を表します。本日の「和白干潟まつり」を通して、今まで以上に生物多様性保全の取り組みの輪が広がっていくことを祈念いたします。

平成25年11月17日

福岡市長

高島 宗一郎

ハマシオンの綿毛やハママツナの紅葉

海の広場のアシ原入り口やアシ原中道では、昨秋10月頃にハマシオンがたくさん咲きました。12月にはホクホクの綿毛が冬の日差しに輝いています。ハママツナは海の広場からアシ原、唐原川河口先まで、和白干潟の沿岸を赤く縁取りました。昨秋はこの2種類の塩生植物が目立っていました。アシの穂も晩秋には膨れて暖かそうです。センダンやナンキンハゼやシャリンバイ、クコなどの木の実がたくさん生りました。やがて葉を落とした後の葉痕も可愛いサルの顔に見えて、観察会では人気です。アシ原や樹林帯にはシロハラやツグミなどの冬鳥が渡ってきます。ウグイスの地鳴きも聞こえます。



ハマシオンの綿毛

冬の干潟



波の紋

晩秋の和白干潟では、寒さのためにコメツキガニが干潟に潜ってしまい静かです。代わってウミニナの5mm程の小さな稚貝が無数に見られます。観察会で干潟を掘ると、アサリと共にクルマエビの子どもが見つかり、子どもたちは大喜びです。冬にはだんだんと北西の季節風が強くなり、海は波立って来ます。海が引いた干潟には美しい波の紋が出来ています。冬になると夏の波静かな和白干潟がうそのように白波が立つ日が多くなります。

オオバン

5年程前から冬の和白干潟ではオオバンが目立つようになりました。初めは奈多や雁ノ巣で目につきましたが、今冬は唐原川河口にも渡ってきました。奈多や雁ノ巣海岸に約250羽。唐原川河口に約30羽のオオバンが並んで浮かんでいます。クイナの仲間です。体全体は黒く、くちばしから額が白です。アオサを食べています。図鑑では淡水の池や河川、ハス田などへの渡来が多いようですが、和白干潟で増えてきたのには何かわけがあるのでしょうか？人工島開発で多くの水鳥が数を減らした中で、増えた鳥があります。ヒドリガモ、ツクシガモ、オオバンです。和白干潟のアオサの増加と関係があるのでしょうか。



オオバン

これからの和白干潟の見どころは？（昨年早春の様子から）

- アシ原：**早春のアシ原ではハマダイコンの花が咲き出す。ハマウドやハマニンニクが伸びてきて3月にはハマニンニクの穂が出る。ウグイスが上手に鳴く。
- 干 潟：**11月下旬に大量のアオサが沿岸に漂着して腐るが、その後は低温のためにアオサは分解する。北西の風が吹きつけ白波が立つことが多く、引いた干潟の波模様が美しい。寒いのでウミニナも砂にもぐっている。カモやシギの足跡が干潟にたくさん残っている。
- 水 鳥：**12月には冬鳥がそろそろ。ミヤコドリは11羽が越冬した。ツクシガモは533羽。淡水ガモ、海ガモ、カイツブリの仲間、カモメの仲間、シギ・チドリの仲間など、冬は水鳥が最も多い季節。

日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録決定！

12月19日、和白干潟を守る会が公益社団法人「日本ユネスコ協会連盟」の100年後の子どもたちに“地域の文化や自然の継承を目指す市民活動”を応援する第5回「プロジェクト未来遺産」に登録が決定しました。初めての応募で39件中10件の登録の一つに決まりました。和白干潟の重要性和、守る会の活動が高く評価されたことは、年の最後を飾り、新たな意欲を高めるすばらしいニュースです。年明けに登録証伝達式があります。

ラムサール条約登録を求める署名 約7000名分提出



2012年11月から取り組んだ「和白干潟のラムサール条約登録を求める署名」は、12月の第一次集約で福岡市長あて6,728名分、環境大臣あて6,618名分に達しました。

2013年12月17日山本代表以下8名で、要望書とともに署名簿を福岡市長に提出しました。福岡市に対してこれだけ多くの要望が上がっていることを真摯に受け止め、ラムサール条約登録実現に取り組むよう強く求めました。環境大臣あての署名簿は、12月19日東京在住の会員中野さんと埼玉在住の河内さんが、環境省野生生物課に提出しました。第1次署名にご協力いただきました皆様、有難うございました。心より御礼申し上げます。



唐原川源流探検をしました！

11月30日、「山・川・海の流域会議」主催で唐原川の源流を探検しようと、立花山七峰松尾山、白岳に登りました。参加者は8名で晩秋の穏やかな天候の下、唐原川の観察をしながら、溪流沿いの登山道をたどり、これぞ源流と言う所を見つけました。近くには戦国時代の石垣や祠があり、そのすぐ下辺りが源流でした。松尾山で昼食後、最終目的地の白岳に登り目的を達成しました。(松田)



山本代表が九州産業大学で講演



11月9日(土)九州産業大学で、「和白干潟はみんなの宝(和白干潟の自然と環境保全活動)」をテーマに山本廣子代表が特別講義をしました。

クリーン作戦に熱心に参加されている九州産業大学経済学部宗像先生のゼミ生を中心に、学生や一般参加など約70名が参加しました。和白干潟の重要性や環境学習の場であること、開発推進派である福岡市との関わりなど、ままたらない現状も語りました。最後に学生の皆さんに自分のできる自然環境の保全活動をして、ふるさとの自然や身近な自然を守って欲しいと訴えました。(久保)

和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！！

★MS&ADインシュアランスグループ様
10月18日に寄付金をいただきました。



気が付いたらあなたも電話してください！

- ▼海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分たちでゴミを拾った時
092-282-7145 (港湾局維持課) ・092-674-4605 (博多湾埠頭KK)
- ▼沖のアオサをとってほしい時
092-282-7153 (港湾局環境対策課)

＊＊ お 願 い !! ＊＊

- 干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう！とても危険です。
- 干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！(ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止)
- 犬のフンの始末は飼い主がしましょう！

弱った野鳥を見つけた時 → 092-513-5611 福岡県筑紫保健福祉環境事務所(地域環境課)
092-643-3367 福岡県環境部自然環境課野生生物係

活動日誌

(山之内 芳晴)

●2013年9月

- 9/1 (日) 2013年秋期シギ・チドリ調査2回目(今津)
- 9/2 (月) 和白干潟通信108号編集会議
- 9/4 (水) 国指定和白干潟・多々良川河口鳥獣保護区に関する公聴会に参加
- 9/5 (木) 秋期シギ・チドリ調査2回目(博多湾東部)
- 9/8 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 9/11 (水) イオン黄色いしシートキャンペーン
- 9/12 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 9/14 (土) 2013年秋期シギ・チドリ調査3回目(今津)「山・川・海の流域会議」参加
- 9/16 (月) 和白干潟通信108号編集会議
- 9/17 (火) 筑陽学園中学校3年生の和白干潟観察会
- 9/19 (木) 秋期シギ・チドリ調査3回目(博多湾東部)
- 9/21 (土) アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 9/24 (火) 和白干潟のラムサール条約登録街頭署名活動(香椎駅周辺)
- 9/28 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察

●2013年10月

- 10/4 (木) 香住丘小学校5年生に和白干潟の講演
- 10/6 (日) モーニングコンサートで和白干潟のきりえと自然を紹介
アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 10/10 (木) 和白干潟通信108号発送会/「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 10/11 (金) イオン黄色いしシートキャンペーン
- 10/13 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 10/18 (金) 柏陵高校環境科学コース1年生の和白干潟観察会
- 10/19 (土) アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 10/20 (日) MS&ADグループの和白干潟観察会
- 10/22 (火) 和白干潟のラムサール条約登録街頭署名活動(福工大前駅周辺)
- 10/26 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 10/27 (日) 唐原川源流探索(唐原川ラボラトリー主催)参加
- 10/30 (水) 第25回和白干潟まつり第2回実行委員会

●2013年11月

- 11/2 (土) 「山・川・海の流域会議」参加
- 11/9 (土) 九産大経済学部にて特別講義
- 11/10 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 11/11 (月) イオン黄色いしシートキャンペーン
- 11/12 (火) 香椎東小学校5年生の和白干潟観察会
- 11/14 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 11/17 (日) 第25回和白干潟まつり
- 11/23 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 11/26 (火) 和白干潟のラムサール条約登録街頭署名活動(香椎駅周辺)
- 11/29 (金) 西戸崎小学校5年生の和白干潟観察会
- 11/30 (土) 唐の原川源流探検(山・川・海の流域会議)参加

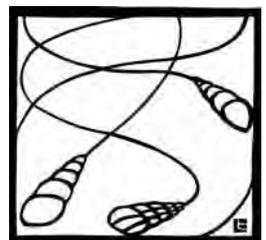
和白干潟の2013年5大ニュース

1. プロジェクト未来遺産登録決定!
 2. 署名を市長と環境大臣へ提出!
 3. 和白干潟の湧水発見!
 4. JAWAN総会と講演会が和白で。
 5. 山・川・海の活動ができた。
- (2013年12月23日の望年会にて)



干潟のつぶやき「生物ゆたかな和白干潟！」

11月の和白干潟には、あたり一面足の踏み場もないようにウミナナの5mm程の稚貝がいます。日本では北海道南部から九州までの河口や内湾などの汽水域に生息しています。干潮時に干潟上を這い、主に干潟表面の珪藻(けいそう)を食べています。しかし20世紀後半に入ってからウミナナが各地で減少しています。2007年には、環境省の貝類レッドリストに準絶滅危惧種として登録されました。ウミナナ減少の最大の原因は、生息地の干潟が埋め立てや干拓などで激減したことだと言われています。九州でも宮崎県では絶滅危惧種に指定されています。ウミナナは干潟の環境指標なのです!!今年の和白干潟ではコメツキガニやウミナナの子どもたちがたくさん生まれました。和白干潟はまだ健康な干潟。生き物たちの楽園、和白干潟をこのまま残してほしいですね。(山之内)



和白干潟の観察会報告

(山之内 芳晴)

10月18日 柏陵高校環境科学コース40名と先生5名

干潟のはなしのあと、バードウォッチング。大潮で引いた水際にいるカモの群れも遠くて識別が難しかったです。干潟はカニの小さな砂団子がいっぱいで、溇筋を目当てに捜すとアサリが良く見つかりました。貝殻が帯状に散乱しているところは、アオサが堆積して窒息死したのでしょうか。最後にアシ原から広場までゴミを拾って帰りました。(田中)



10月20日 MS&ADグループ135名(子ども35名)



紙芝居で和白干潟の紹介を行ったあと、野鳥を観察。スコープを覗いては水際にいるカモの姿を見て、感嘆の声。干潟に入ると生き物を探すのに夢中でした。皆さんに集めてもらったアサリで浄化実験を行いました。観察会の最後に結果を見せると、貝の入った海水の透明感に皆大変驚いていました。紅葉したハマツツナや、ハマシオンの花咲く秋の観察会はとても楽しかったです。(久保)

11月12日 香椎東小学校5年生157名と先生5名

和白干潟の歴史や自然の大切さを説明し、鳥の観察です。子どもたちは初めて見る鳥たちに大はしゃぎ。次に植物観察、それから干潟に出て生き物の観察をしました。カニやゴカイは見つかりませんでした。クルマエビを10匹も発見。干潟一面のウミニナの稚貝にはびっくり。野鳥や多くの生き物を観察できて、子供たちは大満足の様子でした。(松田)



11月29日 西戸崎小学校5年生73名と先生3名



風をよけるために倉庫の前で和白干潟の話と鳥を説明。そのあと望遠鏡でカモを観察。干潟は砂紋でとても綺麗でした。寒くて生き物は見当たりません。子どもたちは一生懸命に生き物を探しました。アメフラシを見つける子や、マメコブシガニを捕まえた子どももいました。昼食のあとにまとめの話。事前学習が行われていたようで、質問も多く出ました。最後の貝の浄化実験では、綺麗になった水に子どもたちから歓声が上がりました。(田辺)

新年度の会費納入をお願いします!

今年も和白干潟を守る会の一員として、和白干潟の自然を守る活動のためをお願いします。

年会費 個人2,000円、団体5,000円

郵便振替 01720-4-23860

和白干潟を守る会

同封の振替用紙をご利用下さい。

郵便局の受領書を領収書に替えさせて頂きます。

行き違いの際はご容赦下さい。

守る会問い合わせ窓口 ホームページ <http://www14.ocn.ne.jp/~hamasigi/>

入会/観察会(申込等)・・・山之内 芳晴

クリーン作戦……………田辺 スミ子

会費……………田中 貞子

干潟まつり……………今村 恵美子

広報/調査/定例会議……山本 廣子

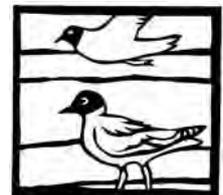
Tel/Fax.092-944-1543

Tel.090-1346-0460

Tel/Fax.092-606-5588

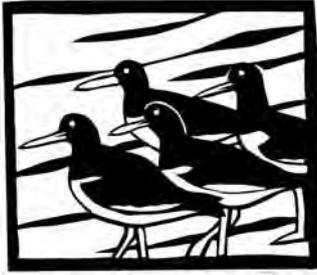
Tel/Fax.092-942-5282

Tel/Fax.092-606-0012



和白干潟を守る会 2014年度総会を開催します！

——素晴らしい年に！今年はきっとラムサール！——



日時：2月22日（土）10時半～13時

場所：和白干潟を守る会事務所

総会では前年度の活動報告や会計報告を行い、新年度の活動方針やスケジュール、予算、役割分担などをみんなで意見を出し合い決定します。今年もラムサール条約登録に向けて、一人でも多くの署名を集める様に努力しましょう。（2月臨時定例会議を引続き開催します）

定例スケジュール

定例会議（1/25, 3/22）

毎月第4土曜日10時半～13時 守る会事務所にて開催。

時間変更などの事前確認をして、ご参加下さい。

和白干潟を守る会事務所・・・福岡市東区和白1-14-37 きりえ館1階

以下は参加自由です。仲間が待っています！

クリーン作戦と自然観察（1/25, 2/22, 3/22）

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合

長靴があると便利。駐車場なし。12月は第3土曜日。

和白海岸探鳥会（2/9, 3/9, 4/13）主催：日本野鳥の会福岡支部

毎月第2日曜日9時～12時 JR和白駅前公園集合 参加費：野鳥の会会員 100円、一般 300円

会員募集中！

年会費 個人 2,000円

団体 5,000円

カンパの協力お願い

郵便振替01720-4-23860

和白干潟を守る会

ラムサール署名を集めましょう

第2次集約分の改訂署名用紙を同封しています。コピーしてたくさん集めていただきますようお願いいたします。

和白干潟の鳥たち（その65）

オカヨシガモ（カモ目カモ科 Gadwall）丘葦鴨 [全長50cm]



（写真撮影：三宅 僚）

淡水ガモ類のオカヨシガモは冬鳥として和白干潟を訪れます。和白干潟には150羽程のオカヨシガモが越冬します。和白干潟の全域で見られますが、主に奈多海岸に多くいます。雄は全体に灰色がかってつるんとした渋い上品な色合いです。雌はくちばしがオレンジ色で、マガモの雌に似ています。「クワッ、クワッ」と鳴くと図鑑に書いてありますが、私は鳴き声を聞いたことがありません。逆立ちをしてくちばしが海底につくくらいの浅瀬で、水面採食や逆立ち採食をしています。植物食が主ですが、虫や貝や魚も食べるそうです。和白干潟ではアオサなどのほかヨコエビなどを食べているのでしょうか？目立たない色合いのカモですが、和白干潟には長く渡来している種です。（山本 廣子）

【編集】山之内 芳晴・田辺 スミ子・今村 恵美子・高田 将文・山本 廣子

<カット>くすだ ひろこ

次号は2014年4月発行予定



【編集後記】和白干潟を守る会の活動が日本ユネスコ協会連盟から「プロジェクト未来遺産」に登録されました！12月に連絡をいただき、2013年のビッグニュースになりました！色んな方々に応援していただきました。これからもがんばっていきましょうね！（山本 廣子）